

環境審議会技術調査会審議検討結果

株式会社日陸周南事業所の開設に伴う環境保全計画は、液体化学品用 ISO タンクコンテナ及びローリーの洗浄、メンテナンス、法定点検、保管を一体的に行うコンテナデポを、周南市徳山港町に設置する計画である。

環境審議会技術調査会では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面審議を行った。令和2年4月10日～23日において、当該計画に伴う環境保全対策について各委員からの意見を集約し、委員からは、コンテナ内容物の条件や頻度の変動に対応した水質管理の要請や、臭気測定の実理等についての確認意見が出された。

これらについて、コンテナ内容物の取扱い頻度に応じて水質管理の測定頻度を変えていくことや、臭気物質の所内脱臭設備を用いた局所排気処理等の環境保全対策を事業者が適切に実施すること等、令和2年5月1日に株式会社日陸より、各委員からの意見への回答があり、周辺環境に影響を与えない事を確認した。

主な審議内容は下記のとおりである。

区分	協議内容	対策等
水質関係	<ul style="list-style-type: none"> 排水処理設備の水質の測定管理で、窒素含有物質等の月1回確認について、コンテナ内容物の条件は常に同等なのか？条件により頻度を変える等の対応は？ 	<ul style="list-style-type: none"> 窒素含有物質の洗浄が多くないため月1回確認と設定。 コンテナ内容物の条件は異なり、取扱いが増えれば頻度を変える対応を検討する。
臭気関係	<ul style="list-style-type: none"> 高圧水洗浄工程の排水はクローズドシステムで回収か？開放系で水が排出される場合、臭気が問題となる懸念はないか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ピットや槽には蓋をしている。臭気品を取り扱う際、蓋の無い部分から発生する臭気は、所内脱臭設備を用いて局所排気し処理する。よって、近隣企業・住民に対して臭気の影響を与えることはない。
	<ul style="list-style-type: none"> 脱臭設備の可燃性ガス検知器について 	<ul style="list-style-type: none"> イソブタン校正しており、臭気物質として洗浄頻度が高い酢酸ブチル、アクリル酸エチル、ジメチルアミンでも検出可能。
	<ul style="list-style-type: none"> 異常時のハンディタイプ臭気センサーについて 	<ul style="list-style-type: none"> 新コスモス電機製のポータブル型ニオイセンサー XP-329ⅢR を予定。測定原理は、高感度酸化インジウム系熱線型焼結半導体式。臭いの強さと臭気指数（相当値）をその場で測定できる。
	<ul style="list-style-type: none"> 敷地境界で常時監視する定置式臭気検知器について 	<ul style="list-style-type: none"> 新コスモス電機製の臭気モニタ UV-819 を予定。測定原理は、高感度酸化錫系熱線型焼結半導体式。様々な臭気の強弱を見える化し常時連続監視することができる。 メチルメルカプタンについて出力特性データ保有。イソブタノール、酢酸エチル、トルエンについても検知可能。